

資料 1 - 3
区 連 会 資 料
令和 4 年 5 月 1 8 日
旭 消 防 署

各地区連合町内会長様

旭 消 防 署

区自治会・町内会への情報提供について（お知らせ）

標題の件について、令和 4 年 6 月、開催予定の「IFCAA 2 0 2 2 YOKOHAMA」^{イフカ ニーゼロニーニョ ヨコハマ}の情報提供について、下記のとおりお知らせいたします。

1 情報提供期間

- (1) 令和 4 年 6 月 6 日（月）までの区内町内会において情報提供をお願いします。

2 情報提供方法

- (1) 各自治会・町内会へ、防災展のチラシをお渡します。
- (2) 防災展の趣旨等については裏面の別添 1 を参照いただきご確認願います。

3 その他

- (1) チラシはすでに各署へ配架していますが、不足が生じた場合は旭消防署下記担当までお問合せください。
- (2) すでに各自治会・町内会へ情報提供されている場合は、改めての情報提供は不要です。

担 当：旭消防署 副署長 角井康師
電 話： 045-951-0119

裏面あり（別添 1）

「IFCAA 2022 YOKOHAMA」及び国際消防・防災展の趣旨等について

1 「IFCAA 2022 YOKOHAMA」について

令和4年6月、横浜市において開催予定の「IFCAA 2022 YOKOHAMA」は、「第32回アジア消防長協会(IFCAA)総会」、「第74回全国消防長会総会」のほか、「国際消防・防災展」や「IFCAA 2022 国際消防救助隊合同訓練」を含む大規模な国際イベントとなります。

「IFCAA 2022 YOKOHAMA」は、これら会議やイベントの総称で、横浜市でのIFCAA総会の開催は初めてとなります。

2 国際消防・防災展について

最新の消防・救助・救急資器材、消防防災システム、防災用品などを国内外の消防関係者や来場された市民の方々へ広く紹介し、最先端の知識、技術の交流を図るとともに、日常生活における災害への備えにつなげることを目的に開催します。

地域防災拠点、各自治会に関連する防災用品等も展示予定となっています。

3 開催期間・場所等について

○チラシの表面

開催期間は令和4年6月8日及び9日の二日間で開催され、場所はパシフィコ横浜展示ホールAと、市民防災センター前の沢渡中央公園となります。

○チラシの裏面

同時開催イベントとして、横浜市民防災センター内では、最新の水災害体験装置やVR体験の準備をしているほか、横浜都市発展記念館においては、横浜消防が自治体消防へと発展した歴史を、パネルによって紹介する展示会を準備しています。

これらの場所の移動は、シャトルバスの定期便を準備していますので、ご利用ください。

○その他

こちらのイベントについては、入場無料となっている他、来場者の方々には抽選でホテル宿泊券、ディナー券等の豪華賞品も準備しています。平日となりますが、是非ご覧ください。

4 情報提供のお願い

こちらの内容については、「広報よこはま」にも掲載予定です。枚数に限りがありますが、消防署でチラシの準備がございましたので、ご希望がございましたらお声かけください。よろしく願いいたします。



横浜国際 消防・防災展

YOKOHAMA International Fire and Safety Exhibition

「次世代へ～アフターコロナの消防・防災」
The future of fire and disaster prevention post-COVID-19



令和4年

6月8日 **水** 10:00 ~ 18:00
(開会式 10:00 ~ 10:30)

6月9日 **木** 10:00 ~ 17:00

入場無料

来場者には **豪華商品** を
プレゼント予定!
詳細は決まり次第、HPでお知らせします。



<https://ifcaa2022exhibition.yokohama/>

メイン会場

パシフィコ横浜展示ホールA
横浜市西区みなとみらい1-1-1

サテライト会場

沢渡中央公園 (横浜市民防災センター前)
横浜市神奈川区沢渡4-1

同時開催イベント

IFCAA 2022 YOKOHAMA開催記念 **パネル展**

横浜消防の近代史 —山を下町238番地のあゆみ—

会期 令和4年6月2日(木) ~ 8月21日(日)
会場 横浜都市発展記念館 1階ギャラリー (横浜市中区日本大通12)
入場料 無料
展示共催 (公財)横浜市ふるさと歴史財団

「楽しく学んで、しっかり備える」

横浜市民防災センター

会期 令和4年6月8日(水) ~ 6月9日(木)
会場 横浜市民防災センター (横浜市民神奈川区沢渡4-7)
入場料 無料

「最先端の消防資機材展示」 横浜国際消防・防災展

会期

6月8日(水) 10:00 ~ 18:00 (開会式 10:00~10:30)

6月9日(木) 10:00 ~ 17:00

メイン会場

パシフィコ横浜展示ホールA

横浜市西区みなとみらい1-1-1

サテライト会場

沢渡中央公園 (横浜市民防災センター前)

横浜市神奈川区沢渡4-1



パシフィコ横浜アクセス

みなとみらい線 (東急東横線・副都心線直通)

「みなとみらい」駅より徒歩5分

JR京浜東北線・横浜市営地下鉄

「桜木町」駅より徒歩12分

メイン会場

最先端の消防・
防災アイテムの祭典!!

サテライト会場

大型車両や
体験型機材が集結!!

IFCAA 2022 YOKOHAMA開催記念 パネル展 横浜消防の近代史 —山下町238番地のあゆみ—

会期 令和4年6月2日(木) ~ 8月21日(日)

会場 横浜都市発展記念館1階ギャラリー (横浜市中区日本大通12)

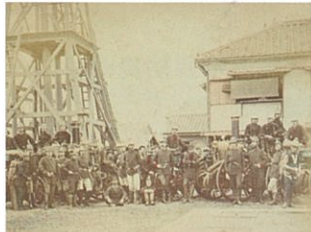
入場料 無料 展示共催 (公財)横浜ふるさと歴史財団

展示概要

かつての山下町238番地、現在、横浜都市発展記念館と隣接する駐車場には、「消防救急発祥之地」や「中消防署開設の地」などのモニュメントがあります。幕末維新期、ここに居留地消防隊が設置されて以降、最新の消火技術を有する消防隊が災害から横浜の街を守っていました。その後、居留地消防隊は薩摩町消防隊となり、1919(大正8)年9月に常備消防制度が横浜に導入されると、神奈川県第二消防署となります。本パネル展では、山下町238番地の変遷を中心に、近代の横浜消防のあゆみをたどっていきます。

横浜都市発展記念館とは

横浜都市発展記念館は都市横浜の近現代史をテーマとする博物館で、建物は1929(昭和4)年に完成した「横浜中央電話局」を利用しています。昭和期以降の歴史資料の収集・整理・保管、調査研究、教育普及事業を行っています。



山下238番地・居留地消防隊の集合写真
1881(明治14)年頃 横浜開港資料館蔵



日本初のガソリンポンプ消防自動車
「メリーウェザー号」大正期 横浜開港資料館蔵

「楽しく学んで、しっかり備える」 横浜市民防災センター

会期 令和4年6月8日(水) ~ 6月9日(木)

会場 横浜市民防災センター (横浜市神奈川区沢渡4-7)

入場料 無料 ※感染症対策のため、入館に際し入場制限をする可能性があります。

横浜市民防災センターは、横浜駅西口から徒歩10分の場所にあり、体験しながら防災について学ぶことができます。



今年4月から新たに導入した「水災害体験装置」では、実際の水を使用し浸水時のドア開放体験や、冠水した道を歩行する体験ができます。



VR体験コーナーでは様々な災害のVR映像が視聴できます。実際に体験しているかのようなリアルな映像により災害の怖さや適切な行動を学ぶことができます。



その他ワークショップなどのブースも多数出展します。ぜひ、横浜市民防災センターへお越しください。



横浜都市発展記念館 Museum of Yokohama Urban History

〒231-0021
横浜市中区日本大通12
TEL.045-663-2424
FAX.045-663-2453



アクセス
東急東横線・みなとみらい線
「日本大通り」駅3番出口より徒歩0分
JR根岸線「関内」駅南口・
市営地下鉄「関内」駅より徒歩10分
横浜市営・神奈中バス
「日本大通り駅南口」より徒歩1分

http://www.tohatsu.city.yokohama.jp/

横浜市民防災センター YOKOHAMA DISASTER RISK REDUCTION LEARNING CENTER

〒221-0844
横浜市神奈川区沢渡4-7
TEL.045-411-0119
FAX.045-312-0386



アクセス
JR線・京浜急行線・相鉄線・東急東横線・
みなとみらい線・横浜市営地下鉄ブルーライン
「横浜」駅西口より徒歩10分
横浜市営バス
「鶴屋町3丁目」より徒歩3分
「市民防災センター前」より徒歩1分

https://bo-sai.city.yokohama.lg.jp/